

しみず新産業開発振興機構
09 - 11月次報告書

作成 事務局

第82回 しみず新事業創出研究会 6日(火)
第55回「産学官交流」講演会・交流会 13日(金)

「要旨」

1、第82回創出研究会 6日 出席28人(企業16、ob3、大学他5、事務局5)

1) 中西会長の情報提供

- (1) 10月15～16日のイノベーションサミットは他地域・地元から延べ250人集まった。人が集まる所に情報が集まる。この情報をどうするか経営の課題になる。
- 函館の東和電気：イカ釣り船の集魚灯をメタハラドランプ(やけどや生態系への影響有)からLEDに変える、波長と魚種・漁獲量のデータも東京海洋大学で調査。新造船に波長の異なるLEDを搭載、九州～函館間で魚種を追って操業。
- イノベーションサミットの反応：県立大貝沼教授の研究「米スラリーのパン」に同社が反応。北海道の米でやりたい。窓口になりたいと申し出た。・・・地元企業はどうか。
- (2) JST静岡管内(静岡・長野・山梨)の補助金テーマの審査があった。静大・東海大では「魚の安全と21世紀のマグロ」：東海大秋山教授。「植物油の廃白土からビタミン関連の開発」：静岡大朴教授。
- (3) 神戸製鋼が開発し、札幌ルネッサンスの企業がライセンスを得て展開している「メッキ箔の抗菌・抗カビ材について、豚ウイルスに効果があるという報告が最近あった。(ハウス栽培の循環養液・陸上の魚養殖等の可能性)
- (4) 「脱臭・抗菌の動向」・・・光触媒を中心に脱臭・抗菌技術について、会長がまとめた1988年からの変遷・経緯を説明した。3回シリーズで紹介する。
(解り易くまとめた説明であった)

2) 企業(オブザーバー参加)紹介

- (1) ビー設カンパニー(山口社長)：特殊車両の制御関連電気部品の設計・制作(本社神奈川県相模原) 清水事務所(会議所6FのSOHO室)・・・雑音消去システム、排気ファン利用発電などを紹介。別事業として草薙で酒所「もつひろ」を経営。
- (2) 明陽電機(籠宮常務)清水区長崎で船舶の電気・センサー関連の事業を展開。

3) 大日工業(株)LED研究会報告

LEDシリーズライトの紹介。神奈川の近藤工芸様との連携で試作した、日本ケミカル松永氏のアドバイスもあり消防関連調査中。

4) 発明協会 風間氏：発明協会の新バックサービス紹介

2、第55回「産学官交流講演会」(沼津高等)13日 参加約35人

- 1) 「高校数学でこんな制御ができてしまう～磁気浮上・倒立振り・音」 機械工学科 三谷准教授
高校程度の微分・積分を使って、刻々補正を加えるフィードバック制御ができる：PID制御・・・
産業界では、いろいろのセンサを用い目標値に追従させるPID制御が大半を占める。
事例には「磁気浮上」とか、「倒立振り」(台車の支点で支えられた金属棒を、台車の運動でバラ

スをとって倒立させる)とか、「音の制御」(キャンセレーション:音を音で消す)がある。

2)「揺れの制御を事業化する」

電子制御工学科 鄭准教授

振動の性質(人間にとって有意義な振動とか公害としての振動か)を正確に理解し、振動を利用する技術と振動を制する技術(共振、騒音対策)、住宅やビルの振動を吸収する制振構造の技術の紹介

3、その他 事務局

- 1) 企業・大学訪問 打ち合わせ・美アスタドリンク市場・企業化調査折衝 事務局
- 2) 第5回静岡県立大学「産・学・民・官」の連携を考える集い 19日・県大 事務局参加
 - (1) セミナー
 - ・産学民官を目指す本学のチャレンジ 県立大 木苗 直秀 学長
 - ・新型インフルエンザと治療薬 薬学部 鈴木 隆 教授
 - ・大学の研究と企業化の一例(キトサン高分子界面活性剤) 環境科学研究所 吉岡 寿 教授
 - (2) 特別講演
 - ・大学発ベンチャーの成功取組(化粧品会社の起業) 聖マリアンナ医科大 山口葉子教授
 - ・老化に伴う心や脳の病からの克服 浜松医科大学 高田 明和 名誉教授
 - (3) 企業展示ブースに機構として出展(美アスタドリンク・KONAZO・塵埃防止剤)
 - 他に田島農園が単独でスプラウト LED出展。
- 3) LED利用のスプラウトの試験(県の補助金事業: 県大・田島農園・清水地域経済研究センター) 実施中
- 4) JSTの補助金に応募していた「いちご炭そ病農業資材の開発: 1000万円」は不採択になった。但し既に本テーマは、JA静岡、富士見工業、静岡大学、機構とで静岡地区の3農家で本園での実地栽培試験を行っており生育中、12月から収穫調査に入る。
- 5) 関東経済「植物工場展示・普及イベント」 24日 さいたま新都心庁舎 赤堀参加
- 6) 木質バイオマス発電(静岡製材協同組合施設)見学会(商工会議所木材合板部会・建設部会の主催) 24日 静岡市牧ヶ谷 白澤参加

4、二渡コーディネーターコメント

間もなく年の瀬を迎えるが、この1年を振り返ってみると、駿河湾関係で、基礎研究が事業化にかなり近づいたテーマがいくつもみられ、大きな成果といえる。しかし、一方では企業側の意欲がいまひとつ不足している感がある。もう一つの事業創出研究会の関係では、参加企業の意欲が高まり、具体的に事業化に向けてかなりポテンシャルが高まっている。来年は、これらの点を反省し、実りある年にしなければならない。

5、今後の予定

	12月	1月	2月
創出研究会(年末懇親会)	14日	未定	未定
駿河湾P研究部会評価委員会・懇親会	21日		
産学官交流講演会	56回 静大農 11日	57回 県立大 26日	

以上